

# FTE 冷水供給装置

フードテクノエンジニアリングは、食品工場のプロフェッショナルとして様々な条件(冷水温度・水量・稼働時間・使い捨てor循環・設置スペース)を考慮し、お客様に最も適したシステムをご提案致します。

## 1. 氷蓄熱方式

夜間に製氷し、氷の融解熱を利用して0℃前後の冷水を取り出す方法。

【メリット】・料金単価の安い夜間電力を使用するので、ランニングコストが安い。

【デメリット】・蓄熱時間が必要なので、14時間以上稼働する施設には不向き。

・イニシャルコストが高い。

## 2. 冷水チラー方式

一般的な冷水チラーは+5℃までの冷水供給が可能。

【メリット】・蓄熱時間が不要なので、24時間稼働の施設でも冷水の供給が可能。

【デメリット】・蓄熱方式ではないので、電気料金単価は割引なし。

## 3. ブラインチラー型冷水チラー方式

上記冷水チラーでは出せない+1.5℃までの冷水供給が可能。

【メリット】・蓄熱時間が不要なので、24時間稼働の施設でも冷水の供給が可能。

・独自のシステムで、イニシャルコストは蓄熱式よりはるかに安い。

・+2℃前後の冷水供給が条件ならば、蓄熱式と比較して、冷凍機の運転低圧圧力が高い分、高率的である。

【デメリット】・蓄熱方式ではないので、電気料金単価は割引なし。

## 4. ゼロポイントチラー方式

氷を作らずに、+0℃近辺の冷水を取り出す方法。蓄熱方式ではない。

【メリット】・製氷せずに直接冷媒ガスで水を冷やすので最も効率が良い。

【デメリット】・熱交換器が特殊で価格も高価。

## 5. 大温度差チラー方式

+20℃の水を一気に+2℃まで冷却する方式。

【メリット】・冷水タンク等が必要なく、省スペースである。

・冷却効率が高い。

【デメリット】・大容量の水量は供給出来ない。

### フードテクノエンジニアリング株式会社

□大阪本社  
□東京支社  
□青森営業所  
□四国営業所  
□北九州営業所  
□南九州営業所

〒555-0001 大阪府大阪市西淀川区佃4-8-13  
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-13-5 DK五反田7階  
〒039-1121 青森県八戸市卸センター2-3-15  
〒763-0091 香川県丸亀市川西町北2034-2  
〒856-0813 長崎県大村市西大村本町689-4 ウェルス大村インターC  
〒885-0006 宮崎県都城市吉尾町787-2

TEL:06-6474-3910/FAX:06-6474-3911  
TEL:03-5719-1215/FAX:03-5719-1216  
TEL:0178-21-8165/FAX:0178-28-7724  
TEL:0877-58-0877/FAX:0877-58-0878  
TEL:0957-20-7281/FAX:0957-20-7282  
TEL:0986-47-1445/FAX:0986-47-1446